
平成26年度 決算説明会資料

平成27年5月8日

日新製鋼株式会社

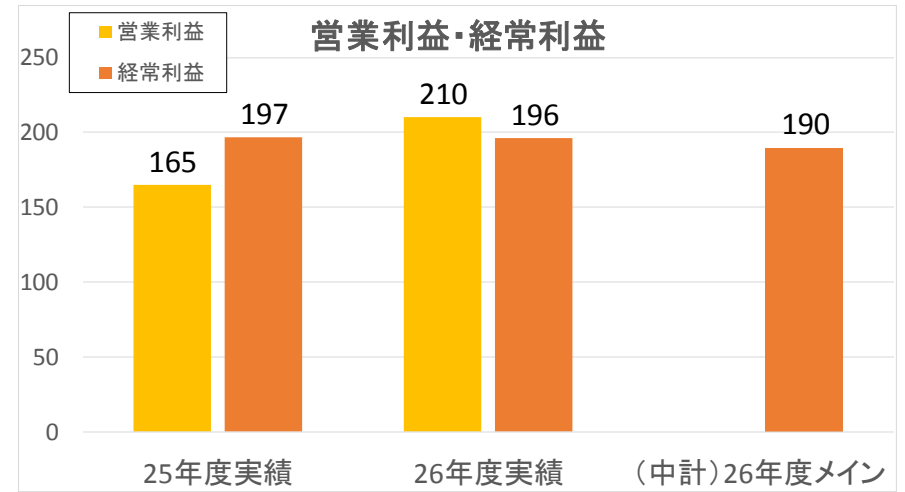
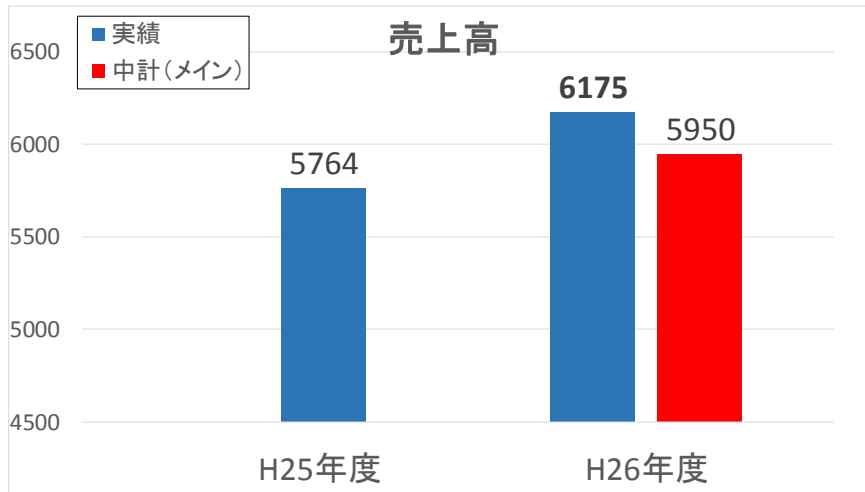
当社の状況



24号中計 企業基盤強化期間総括(1)

業績推移

- ◇ H24年下期(経営統合初年度)からの24号中計の推進により、H25年度に業績をV字回復
- ◇ H26年度においては、中計メインケースを上回る業績水準を達成



	H24年度	H25年度			H26年度		
	下期	上期	下期	計	上期	下期	計
売上高	2,720	2,703	3,061	5,764	3,108	3,067	6,175
営業利益	-86	85	80	165	89	121	210
経常利益	-96	128	69	197	83	113	196
うちステンレス	-50	65	5	70	10	25	35
当期純利益	-266	91	86	177	52	117	169

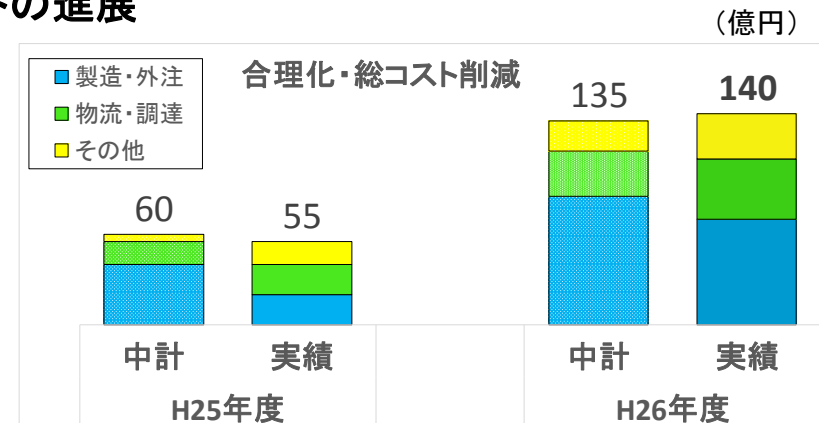
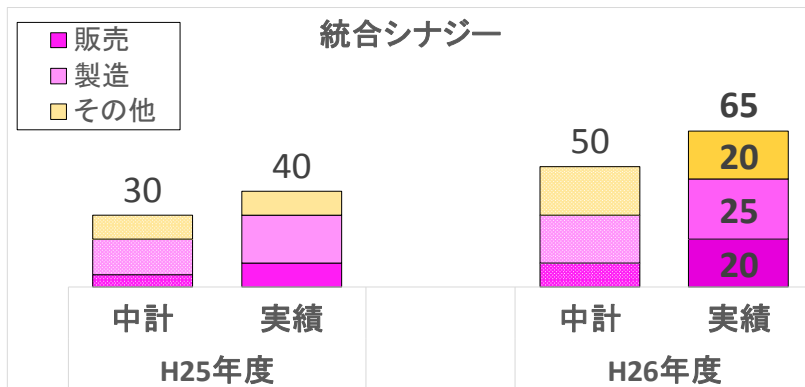
(億円)

[参考]中計H26年度	
メイン	リスク
5,950	5,800
190	90
70	20
140	50

24号中計 企業基盤強化期間総括(2)

中計6施策 ①世界と戦える収益体質の追及

◇ 統合シナジーと合理化・総コスト削減プロジェクトの進展



◇ 市況に柔軟に対応ができる生産体制構築、設備の最適化

- ・ 全社横断組織の設置による効率生産の推進
 - 普通鋼・特殊鋼生産推進センター (H25年4月～)
- ・ 設備休止
 - 日新鋼管蒲郡工場造管機GT-4休止 (H26年9月)
 - 日新製鋼ステンレス鋼管 尼崎工場への小・中径管生産集約、衣浦工場造管機10機休止 (H26年)

◇ IT環境の整備とシステム関連プロジェクトの実現

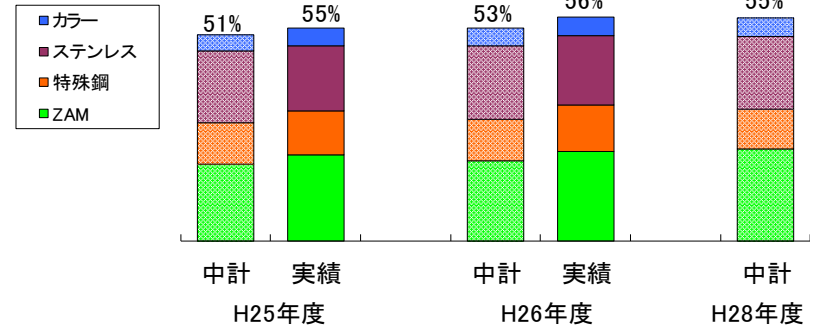
- ・ ステンレス生産システム統合推進
- ・ e-POS(購買・外注契約システム)、ニコムス(設備保全管理システム)の本番化 (H26年1月～)
- ・ 日新製鋼グループ使用PCのシンクライアント化推進

24号中計 企業基盤強化期間総括(3)

中計6施策 ②コア製品戦略と新商品開発

◇ 需要開発・ソリューション提案の強化

- ・ コア製品比率(数量ベース)
 - ZAM・特殊鋼は計画を上回る水準で推移
 - カラー鋼板は概ね当初計画通りの水準
 - ステンレスは採算重視により数量未達



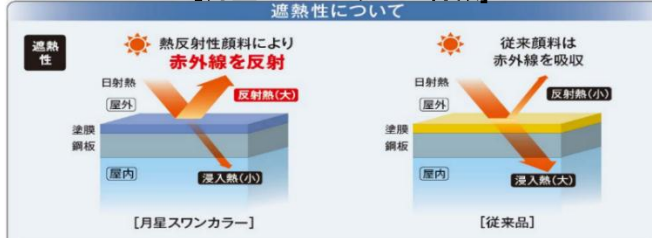
◇ コア商品の多層化

- ・ 機能性後処理・塗膜 『ZAM+®(ザムプラス)』リリース (H26年9月)
- ・ 新塗装ステンレス『月星スワンカラー』の発売 (H27年4月)

[ZAM+® 用途例: 遮音壁]



[月星スワンカラーの特徴]



[外壁材 輝石グラジェット]

◇ 有機的な川下戦略

- 『素材から2次加工まで』グループ一体で収益を獲得するビジネスモデル
 - ・ 日新総合建材「グラジェットシリーズ」
 - ・ 日新鋼管「ZAMプレめっき中径丸管」
 - ・ 月星アート工業「ファインガード3」



[ファインガード3 使用例]

24号中計 企業基盤強化期間総括(4)

中計6施策 ③グローバル事業体制の構築

◇ 中国

- ・ 銅めっき : 日新製鋼(南通)高科技鋼板有限公司(H25年7月開業)
 - 日系自動車部品メーカーの現調化対応等
- ・ 特殊鋼 : 浙江日新華新頓精密特殊鋼有限公司(H28年夏開業予定)
 - 吳LFとの有機的連携による自動車市場開拓等

◇ 北米

- ・ NAT : 第2造管ライン稼動、営業生産開始(H25年7月)
- ・ W-N : ZAM営業生産開始(H25年11月)、直近生産量約500t/月

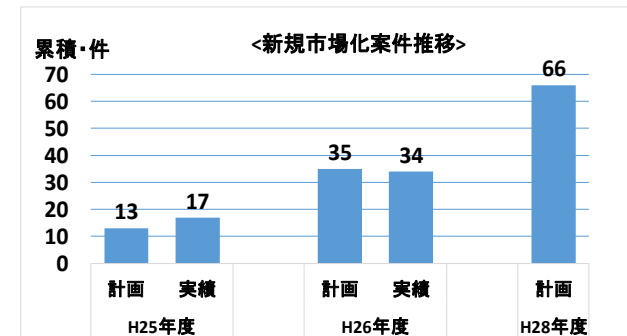


[建設が進む平胡特殊鋼現地(H27.4撮影)]

中計6施策 ④新規事業の創出と市場展開

◇ “お客様にうれしさ”を提供できる製品をグループ一体で開発・市場化

- ・ 新規市場化件数の進捗
 - H26年度当初計画(累積)35件に対し、実績34件
- ・ 開発事例
 - 耐摩耗性サイレントチェーン用鋼(自動車)
 - 耐硫酸露点腐食鋼(産業機械)
 - グラジェット加飾印刷金属サイディング(建材)
 - レーザ溶接H形鋼(住宅・非住宅建材)



24号中計 企業基盤強化期間総括(5)

中計6施策 ⑤強固な企業基盤の構築

コンプライアンス活動の強力推進

- ・ 内部統制推進部の設置 : リスクマネジメントとコンプライアンス推進活動を一体運営

顧客要求に応える高品質の追求

- ・ ZAMのJIS認証取得
- ・ ステンレス鋼種統合推進

社会に貢献する環境保全

- ・ 環境負荷低減のための設備改善対策の実施
- ・ エコマテリアルの提供

安全・防災の徹底

- ・ トラブル再発防止策徹底
- ・ 未然防止策の推進
(設備関係費用増額、等)

中計6施策 ⑥組織体制・効率的な人財活用等

◇ グループ事業の再構築

- ・ 日新製鋼HD・日新・日金工の完全統合、中核子会社の100%子会社化(月星海運、新和企業)
- ・ 中核事業の分社化 : 日新製鋼ステンレス鋼管の発足(H26年4月)および製販一体(H27年4月)

◇ 連結経営強化・グループ全体での収益力向上

- ・ 「連結経常利益」による業績連動型賞与決定方式

◇ 要員規模(構成)において、競争・成長を持続できる体制整備

- ・ グループ就業人員数 : H28年度末目標 $\Delta 5\%$ (対H23年度末)に対し、H26年度末実績 $\Delta 3\%$
- ・ ダイバーシティ推進 : 女性活用の推進(生産系含む)

24号中計 企業基盤強化期間総括(6)

設備投資と投融資、B/S・C/F

◇ 設備投資と投融資

・ 主な投資実績

- 呉製鉄所 スラブグラインダー設備
- 周南製鋼所 製鋼設備リフレッシュ
- 日新製鋼(南通) 電気銅めっき鋼板製造設備
- W-N 連続溶融めっき設備ZAM生産対応
- NAT 第2レーザ溶接造管ライン

(億円)

	投資実績(※)		
	H25年度	H26年度	計
投資額	271	390	661

※有形資産・無形資産・投融資の検収合計額
(修繕費等の少額投資分除く)

◇ B/S・C/F

- ・ 投資有価証券、遊休資産等の売却による戦略投資への振り替えを実施(固定資産構成の見直し)。
- ・ 棚卸資産圧縮の継続推進(H25年度 累計約80億円、H26年度 累計約110億円圧縮 ※)
- ・ フリーキャッシュフローは每期黒字で推移

※対H24年9月末。単価影響除く数量ベース

(億円)

	連結B/S		
	H25.3末	H26.3末	H27.3末
総資産	6,942	7,417	7,705
うち棚卸資産	1,383	1,436	1,442
うち固定資産	4,160	4,401	4,900
純資産	1,792	2,159	2,719

(億円)

	連結C/F		
	H25年度	H26年度	2ヵ年 計
営業キャッシュフロー	266	393	659
投資キャッシュフロー	△ 192	△ 293	△ 486
フリーキャッシュフロー	74	99	173

24号中計 企業基盤強化期間総括(7)

財務体質改善と配当政策

◇ 財務体質改善

- 有利子負債の圧縮 :
2カ年で△437億円(社債償還、劣後債から劣後ローンへの借り換え、等)



純D/Eレシオ1.0以下の早期達成

連結貸借対照表

	実績		金額：億円 (参考) 中計メイン	
	H24年度末	H26年度末	H26年度末	H28年度末
有利子負債	3,335	2,898	3,000	2,800
純資産	1,792	2,719	2,020	2,420
格付上の純D/Eレシオ	1.35	0.86	1.1	0.9

◇ 配当政策

- H26年度の配当は一株あたり40円/年を予定
- H27年度以降においても、当社の「利益配分に関する基本方針」に基づき、連結業績に応じた適切な剰余金の配当を実施していく予定

配当

	H25年度	H26年度末
1株あたり配当額(円)	15.0	40.0
1株あたり純利益(円)	177.72	160.51
連結配当性向	8.4%	24.9%

【利益配分に関する基本方針】

連結業績に応じた適切な剰余金の配当を実施していくことを基本に、企業価値向上に向けた今後の事業展開に必要な内部留保の確保および今後の業績見通しを踏まえつつ、安定的な株主還元を実施

24号中計 目標達成に向けて(1)

Think together Act together Grow together

— グループ全社が強力なタッグを組み、英知を結集して24号中計総仕上げを進める —

◇ 経営環境

・足元の需要環境はメインシナリオの想定を下回る水準。メインシナリオ達成に向け、更なる構造改革を実施

◇ 中計総仕上げに向けた3つの改革テーマ

(1) “稼ぐ力”の徹底強化

・採算重視による真の品種構成改善の加速

- 販売：製品利益が観えるシステムの導入、単価・数量管理から採算管理に切替（H26年度～）
- 製造：子会社も含めたグループ一貫での製造原価が観えるシステムの導入（H27年度予定）

(2) 戦略投資リターンの早期・最大化

- ・ステンレス製造本部の設置(H27年4月)：周南・衣浦の一体運営による統合シナジー最大化の推進
- ・成長分野への人財シフト等による呉LF投資、中国事業投資等の早期効果刈り取りの推進

(3) 将来の収益力を担保する新商品の開発とソリューション提案力の強化

- ・ZAMに続く将来の柱の開発、最終消費者ニーズを意識した”B to C“目線での需要の掘り起こし等の推進
- ・上記を目的に、H27年4月に組織改正実施。商品開発とソリューション提案力の機能を明確化
 - グループ商品開発戦略本部の設置：当社グループの次世代を担う商品開発の推進
 - 品質・技術サービス部の設置：需要家ニーズに対するソリューション提案力の強化

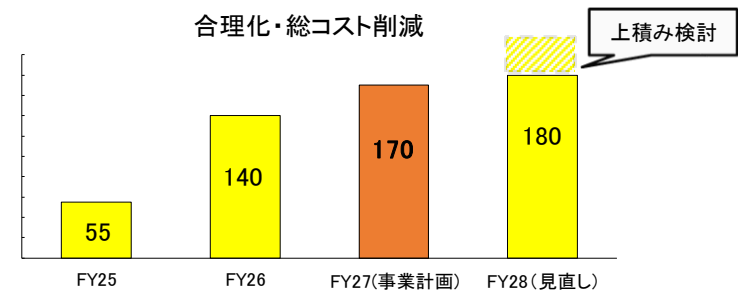
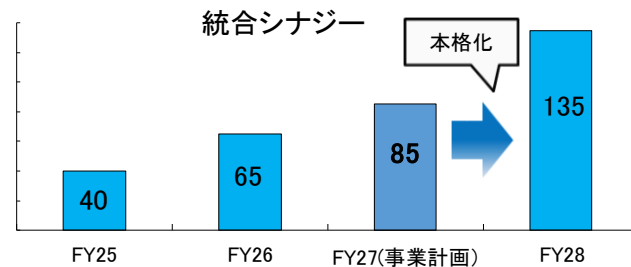
24号中計 目標達成に向けて(2)

27年度事業計画

一 最終年度の目標達成に向け、今年度より中計とリンクした「事業計画」を策定

◇ 統合シナジーと合理化・総コスト削減プロジェクト

- ・ 統合シナジー85億円を計画。周南新製鋼稼動と衣浦製鋼休止(11月予定)によるシナジー最大化に注力
- ・ 合理化・総コスト削減170億円を計画。最終年度に向けて、合理化効果の更なる上積みを検討



◇ 品種構成改善とコア製品戦略

- ・ 特殊鋼増産検討 : 呉特殊鋼生産能力検討および堺焼鈍設備新設による増産検討
- ・ ZAM生産上方弾力性確保 : 市川3CGL品質改善による増産対応
- ・ 2次加工品でのカラー鋼板の拡販 : 日新総合建材との協業による“B to C”の発想でのマーケット開発

◇ 新規事業の創出

- ・ 新規市場化件数 : 平成27年度(累積)50件を予定

◇ 構造改革の推進

- ・ 組織構造、事業構造、財務構造において、合計116の改革テーマを推進。さらなる追加案件を検討

平成26年度 決算の概要



平成26年度決算

平成26年度の概況

- ✓ 好調な内需と昨年度の設備トラブル影響からの回復により、生産は高水準。販売価格の改善と構成改善に努め、売上高は前年同期比増収を達成。
- ✓ ZAMは好調を維持。加えて新商品ZAM+（プラス）を投入するなど、平成26年度の販売量は約7万トン弱/月。
- ✓ 合理化総コスト削減や統合シナジーなど24号中計の諸施策を着実に推進し、営業利益は前年同期比増益を達成。経常利益については前期に計上した一過性要因の影響があるものの、ほぼ同レベルの水準を達成。
- ✓ ステンレスは、Ni価格高騰に対する販売価格への反映にややタイムラグはあったものの、徐々に価格改善が浸透。統合シナジー等中計諸施策の推進や在庫評価益も加わり、経常利益は35億円を計上。

平成26年度決算

(億円)

	No	H26年度			H25年度 (実績) D	H26年度 (前回予想) E	差異			
		上期 (実績) A	下期 (実績) B	C			① F=C-D	② G=B-A	③ H=C-E	
		売上高	1	3,108			3,067	6,175	5,764	6,150
営業利益	2	89	121	210	165	220	45	32	▲ 10	
経常利益	普通鋼・特殊鋼	3	73	88	161	127	160	34	15	1
	ステンレス	4	10	25	35	70	40	▲ 35	15	▲ 5
	計	5	83	113	196	197	200	▲ 1	30	▲ 4
当期純利益	6	52	117	169	177	160	▲ 8	65	9	

在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	▲ 15	▲ 10	▲ 25	25	▲ 20	▲ 50	5	▲ 5
	ステンレス	8	25	0	25	15	30	10	▲ 25	▲ 5
	計	9	10	▲ 10	0	40	10	▲ 40	▲ 20	▲ 10

<実カベース>

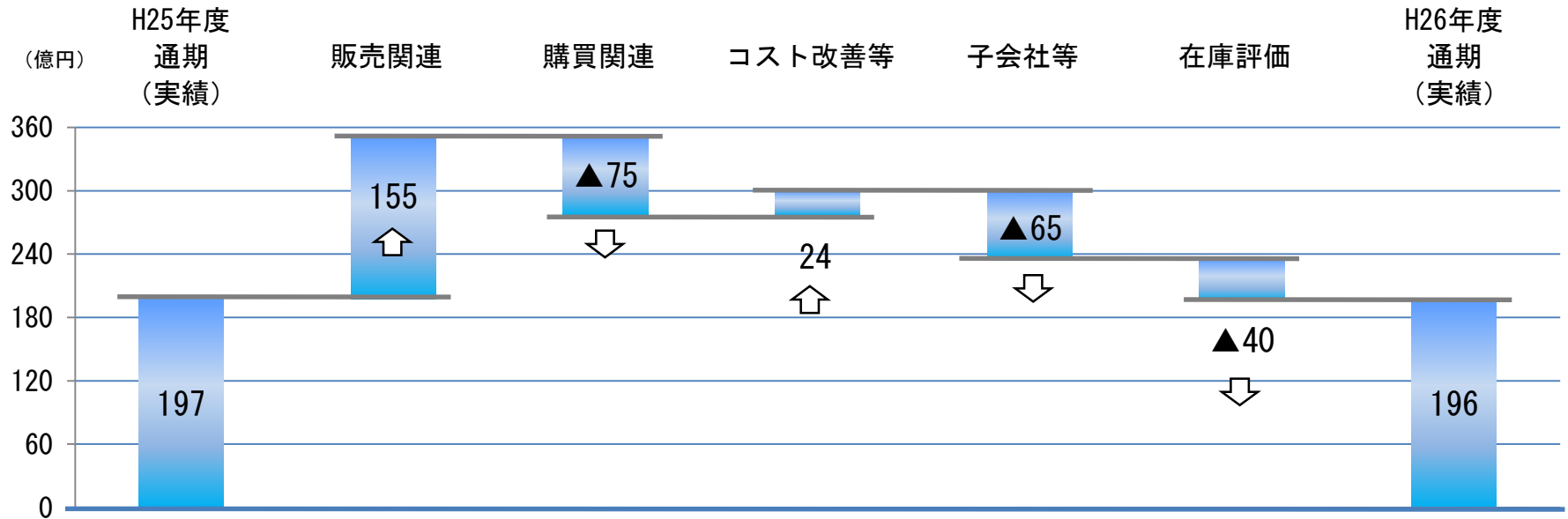
経常利益	普通鋼・特殊鋼	10	88	98	186	102	180	84	10	6
	ステンレス	11	▲ 15	25	10	55	10	▲ 45	40	0
	計	12	73	123	196	157	190	39	50	6

平成26年度諸元

		No	H26年度			H25年度 (実績) D	H26年度 (前回予想) E	差異		
			上期 (実績) A	下期 (実績) B	C			① F=C-D	② G=B-A	③ H=C-E
粗鋼生産量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	1	168	159	327	318	328	9	▲ 9	▲ 1
	ステンレス	2	39	32	71	75	72	▲ 4	▲ 7	▲ 1
	計	3	207	191	398	393	400	5	▲ 16	▲ 2
販売数量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	4	160	161	321	309	319	12	1	2
	ステンレス	5	32	28	60	60	61	0	▲ 4	▲ 1
	計	6	192	189	381	369	380	12	▲ 3	1
鋼材平均単価 (千円/トン)		7	127	126	127	123	127	4	▲ 1	0
輸出比率 (金額ベース, %)		8	17	17	17	16	17	1	0	0
輸出為替レート (円/ドル)		9	103	117	109	100	108	9	14	1

経常利益差異内訳

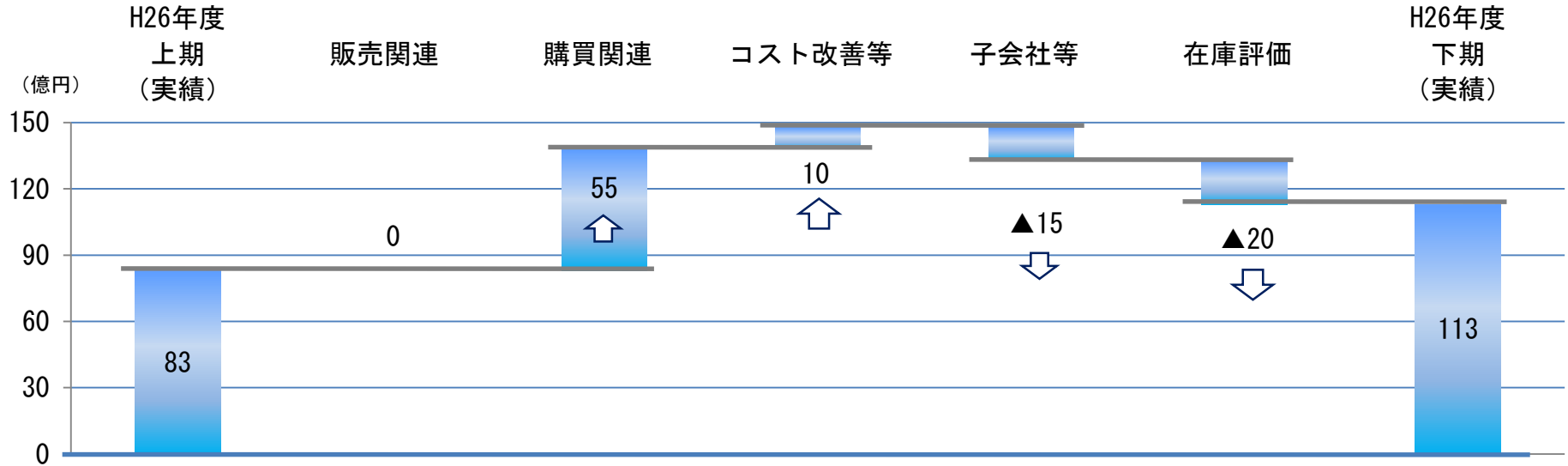
H25年度通期(実績):H26年度通期(実績)



H25年度通期(実績)		197	変動要因	70
変動要因	販売関連	155	価格差 100、数量構成差 15、輸出為替差 40	150
	購買関連	▲ 75	鉄鉱石 120、石炭 60、ニッケル原料▲75、輸入為替差▲190	▲ 145
	コスト改善等	24	合理化等	15
	子会社等	▲ 65	海外連子▲40、持分他▲25	▲ 65
	在庫評価	▲ 40	40→0 (内ステンレス 15→25)	10
計		▲ 1		▲ 35
H26年度通期(実績)		196		35

経常利益差異内訳

H26年度上期(実績):H26年度下期(実績)



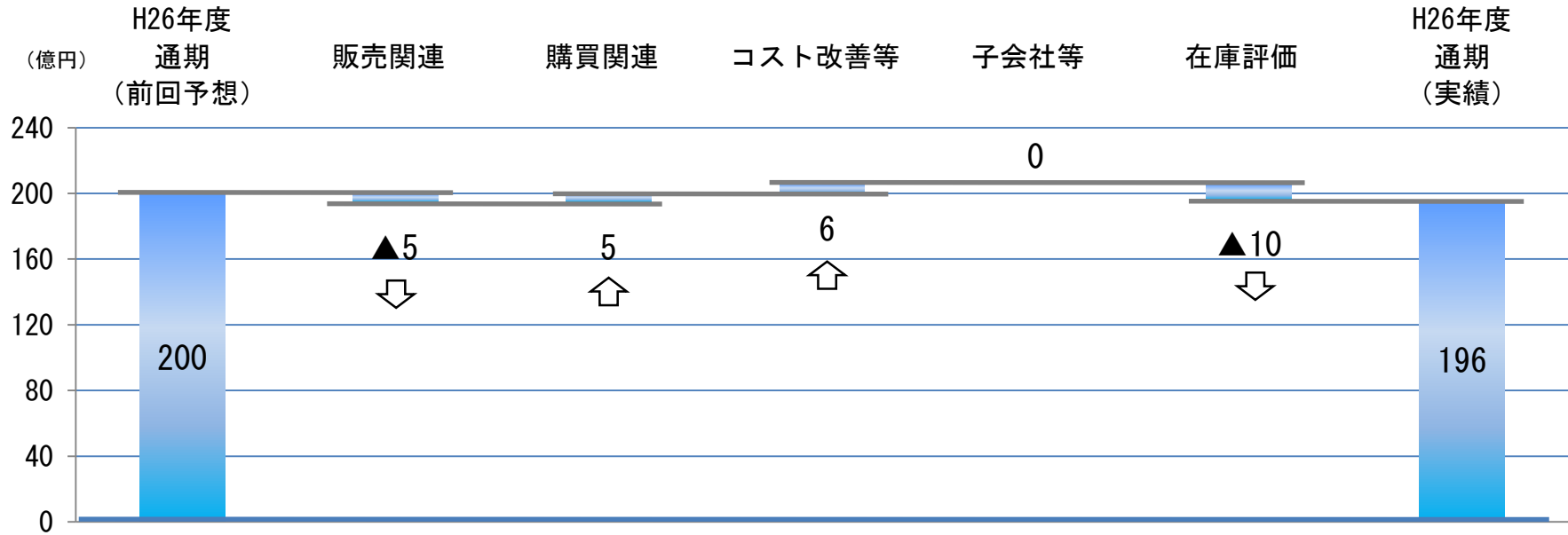
		(億円)	(内ｽﾄﾝｽ)
H26年度上期 (実績)		83	10
変動要因	販売関連	0	45
	購買関連	55	0
	コスト改善等	10	10
	子会社等	▲ 15	▲ 15
	在庫評価	▲ 20	▲ 25
	計	30	15
H26年度下期 (実績)		113	25

変動要因詳細:

- 販売関連: 価格差▲10、数量構成差▲20、輸出為替差 30
- 購買関連: 鉄鉱石 80、油類 25、ニッケル原料 25、輸入為替差▲80
- コスト改善等: 合理化等
- 子会社等: 持分他
- 在庫評価: 10→▲10 (内ｽﾄﾝｽ 25→0)

経常利益差異内訳

H26年度通期(前回予想):H26年度通期(実績)



H26年度通期(前回予想)		200	変動要因		40
変動要因	販売関連	▲5	数量構成差▲5		▲5
	購買関連	▲5	ニッケル原料 5		▲5
	コスト改善等	▲6			▲6
	子会社等	▲0			▲0
	在庫評価	▲10	10→0 (内ステンレス 30→25)		▲10
計		▲4			▲4
H26年度通期(実績)		196			35

貸借対照表 (H27年3月末)

(億円)

		対H26/3末		主な内訳
現預金	263	▲	145	
売上債権	790	▲	4	
たな卸資産	1,442		5	
その他流動資産	308	▲	66	
有形・無形固定資産	2,777		97	償却▲241、取得 333
投資等	2,123		401	
資産合計	7,705		288	

有利子負債	2,898	▲	336	
その他の負債	2,087		64	
負債合計	4,985	▲	271	
資本金・資本剰余金	1,210		10	自己株式処分差益 10
利益剰余金	741		79	退職給付会計基準変更▲75、 当期純利益 169、配当▲15
自己株式	▲ 5		81	自己株式処分 82
その他の包括利益累計額	681		379	
少数株主持分	90		9	
純資産合計	2,719		560	
負債・純資産合計	7,705		288	

キャッシュ・フロー

(億円)

	H26年度	主な内容	H25年度								
営業活動による キャッシュ・フロー	393	<table border="0"> <tr> <td>税引前純利益</td> <td>192</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td>241</td> </tr> <tr> <td>売上債権減少</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>仕入債務減少</td> <td>▲ 44</td> </tr> </table>	税引前純利益	192	減価償却費	241	売上債権減少	14	仕入債務減少	▲ 44	266
税引前純利益	192										
減価償却費	241										
売上債権減少	14										
仕入債務減少	▲ 44										
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 293	<table border="0"> <tr> <td>有形固定資産取得</td> <td>▲ 256</td> </tr> </table>	有形固定資産取得	▲ 256	▲ 192						
有形固定資産取得	▲ 256										
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 260	<table border="0"> <tr> <td>有利子負債減少</td> <td>▲ 335</td> </tr> <tr> <td>自己株式の処分</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>配当金支払</td> <td>▲ 14</td> </tr> </table>	有利子負債減少	▲ 335	自己株式の処分	92	配当金支払	▲ 14	▲ 116		
有利子負債減少	▲ 335										
自己株式の処分	92										
配当金支払	▲ 14										
現金及び現金 同等物の期末残高	261		406								

剰余金の配当

- ◆配当については連結業績に応じた適切な配当を念頭に、1株当たり40.0円(年間40.0円)実施

【利益配分に関する基本方針】

連結業績に応じた適切な剰余金の配当を実施していくことを基本に、企業価値向上に向けた今後の事業展開に必要な内部留保の確保および今後の業績見通しを踏まえつつ、安定的な株主還元を実施

H27年度について

- ◆H27年度通期の業績見通しについては、現時点で未定。
今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示

今後の取り組み

- ✓ 統合シナジー効果の確実な実現と更なる上積み
- ✓ 合理化・総コスト削減活動の完遂
- ✓ 戦略投資の確実な果実の刈り取り
- ✓ 構成改善の確実な推進

グループ一体で「稼ぐ力」の強化を一層推進

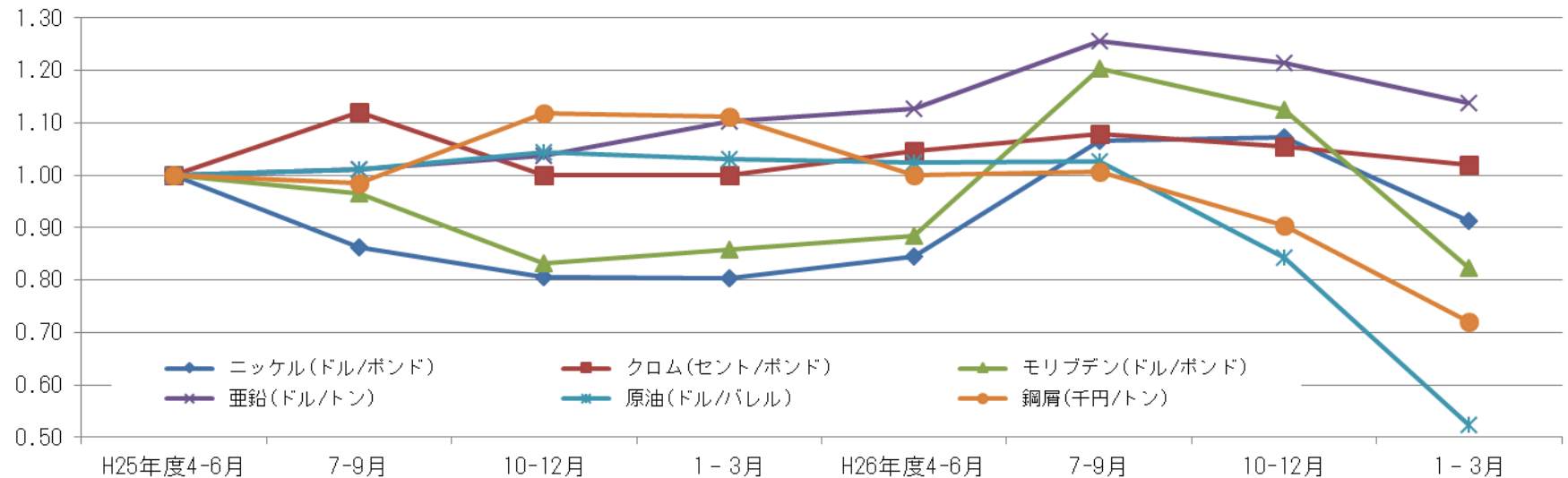
(ご参考)
主要データ



購買市況(適用ベース)

	H25年度							H26年度							
	上期			下期				平均	上期			下期			平均
	4-6月	7-9月	平均	10-12月	1-3月	平均	4-6月		7-9月	平均	10-12月	1-3月	平均		
ニッケル(ドル/ポンド)	7.85	6.78	7.32	6.32	6.31	6.32	6.82	6.64	8.37	7.51	8.42	7.16	7.79	7.65	
クロム(セント/ポンド)	120.5	135.0	127.8	120.5	120.5	120.5	124.1	126.0	130.0	128.0	127.0	123.0	125.0	126.5	
モリブデン(ドル/ポンド)	11.3	10.9	11.1	9.4	9.7	9.6	10.3	10.0	13.6	11.8	12.70	9.3	11.0	11.4	
亜鉛(ドル/トン)	1,840	1,860	1,850	1,909	2,029	1,969	1,910	2,073	2,311	2,192	2,235	2,092	2,164	2,178	
原油(ドル/バレル)	102.5	103.7	103.1	107.0	105.6	106.3	104.7	104.9	105.3	105.1	86.5	53.8	70.1	87.6	
鋼屑(千円/トン)	31.4	30.9	31.2	35.1	34.9	35.0	33.1	31.4	31.6	31.5	28.4	22.6	25.5	28.5	

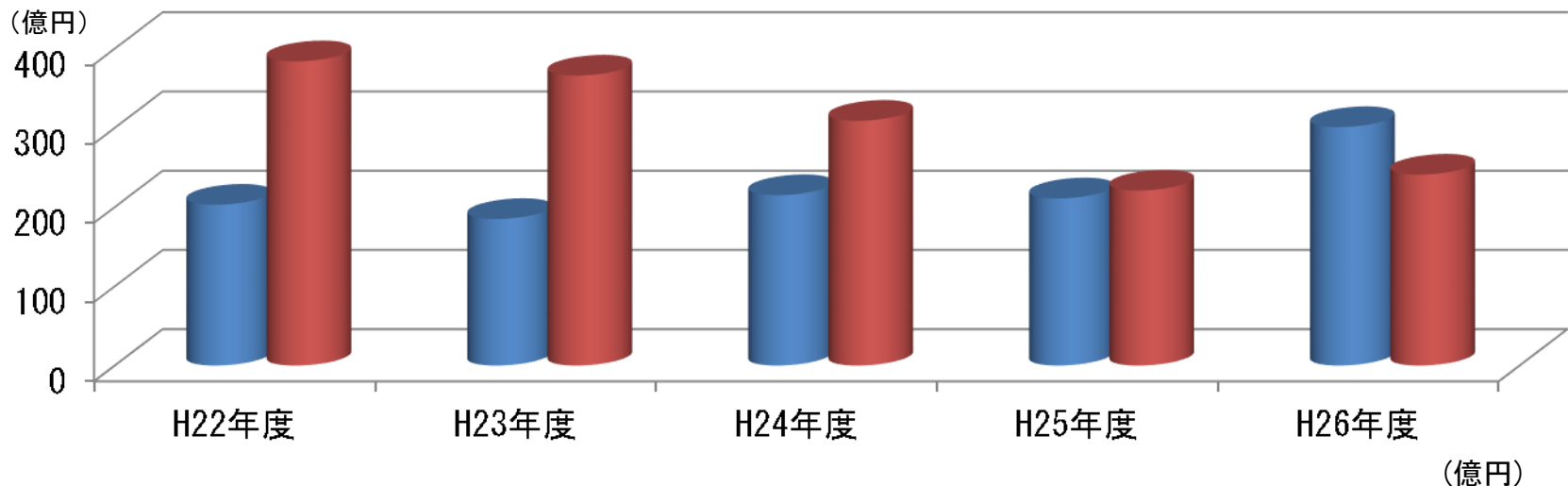
購買市況の推移 (H25年度4-6月を1.00)



設備投資・減価償却費

※H23年度以前は、日新製鋼連結

■ 設備投資（有形のみ／検収ベース） ■ 減価償却費



	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
設備投資	203	185	215	211	301
減価償却費	384	366	309	221	241

※設備投資額は有形のみ／検収ベース

平成26年度完了の主な設備投資

◇ 呉製鉄所

鋼片精整設備合理化工事

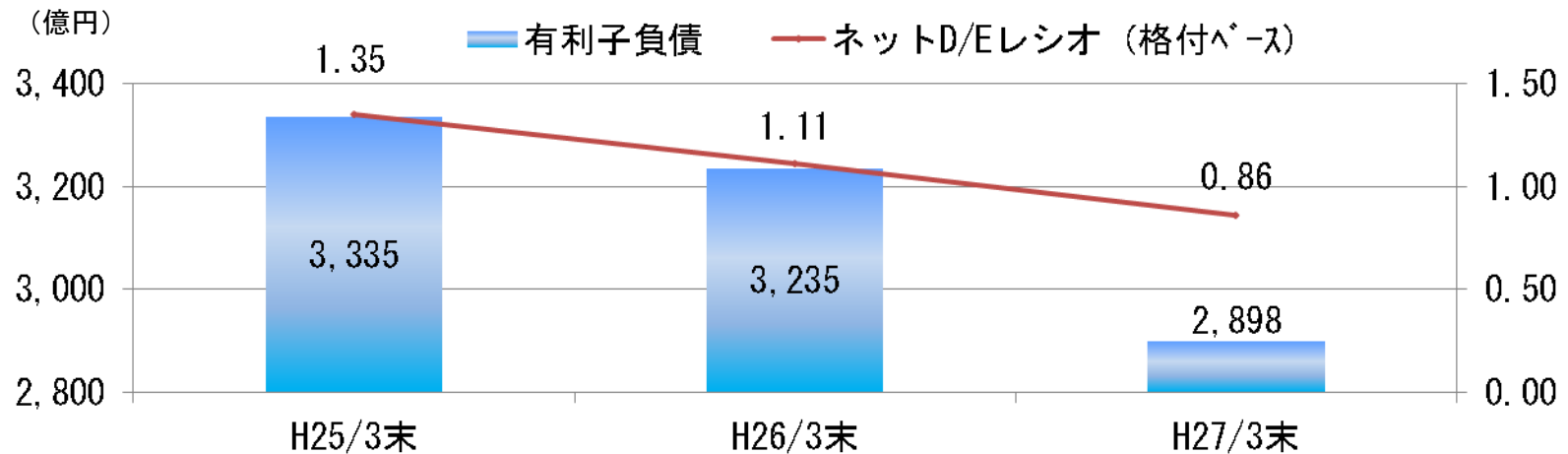
◇ 月星商事(株)

鋼板加工設備設置工事

◇ 日新製鋼（南通）高科技鋼板有限公司

電気銅めっき鋼板製造設備設置工事

有利子負債・ネットD/Eレシオ（格付けベース）



	H25/3末	H26/3末	H27/3末
手許預金 (億円)	432	408	263
有利子負債 (億円)	3,335	3,235	2,898
ネットD/Eレシオ	1.69	1.36	1.00
〃 (格付けベース) ※	1.35	1.11	0.86

※ 日本格付研究所の格付評価上、資本性が認められるハイブリッド証券/ハイブリッドローンについて、元本の50%を資本とみなした場合のネットD/Eレシオ
 (H25/3末、H26/3末は500億円の50%、H27/3末は400億円の50%を、それぞれ資本に算入)